

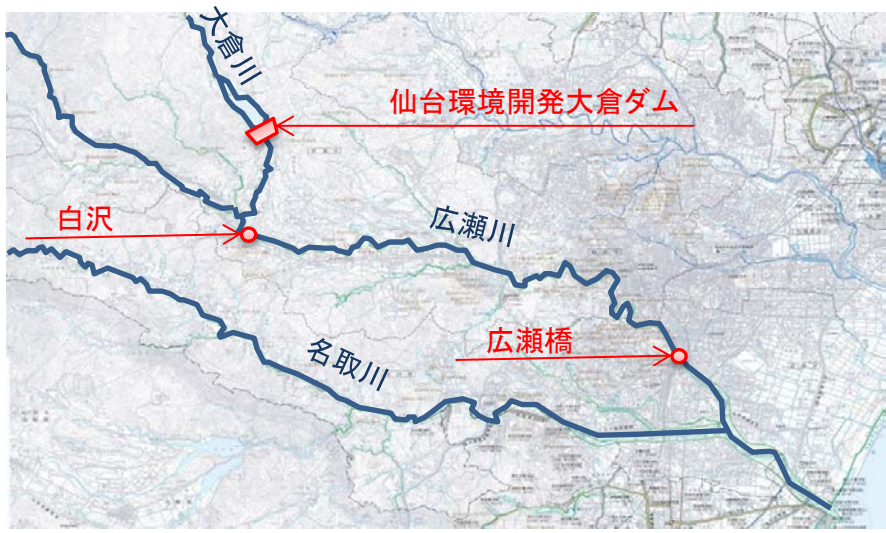
一級河川名取川水系 大倉川 大倉ダムの効果(平成28年8月2日)【速報】

宮城県

○大倉ダムでは、平成28年8月2日に、低気圧に伴う大雨により、**流域平均の累計雨量が34mm、最大時間雨量では18mmを記録しました。**これによるダムへの最大流入量は、計画1,200m³/sに対し、**118.43m³/sを記録しました。**

○今回の洪水調節により**最大流入時の97.1%(115.05m³/s)を貯留し、**下流河川の水位上昇を軽減しております。

ダムの位置図



ダムの状況写真



(洪水前 8月1日 10時0分)



(洪水後 8月2日 17時00分)

大倉ダムの洪水調節実績

・洪水調節 開始	2日 14時 0分	終了	2日 14時 40分
・ダム流域累計雨量	34 mm	(2日 8時 ~ 2日 19時)	
・最大時間雨量	18 mm	(2日 12時 ~ 2日 13時)	
・ダムへの最大流入量	118.43 m ³ /s	(2日 14時 30分)	
・最大流入時の放流量	3.38 m ³ /s		
・ダムによる最大調節量	115.05 m ³ /s	(約 97.1%)	

大倉ダムによる調節量

最大流入時に、流入量の **97.1%** をダムに貯留しました。

最大流入時の放流量
3.38 m³/s

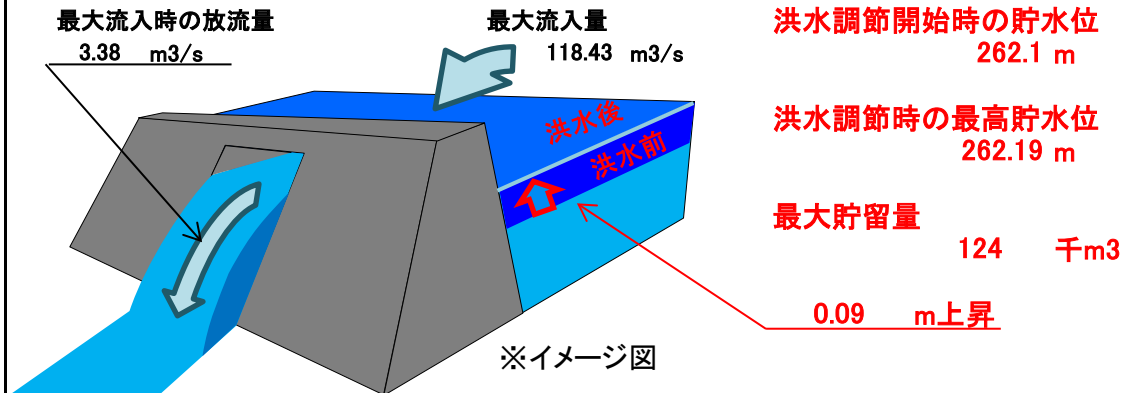
最大流入量
118.43 m³/s

洪水調節開始時の貯水位
262.1 m

洪水調節時の最高貯水位
262.19 m

最大貯留量
124 千m³

0.09 m上昇



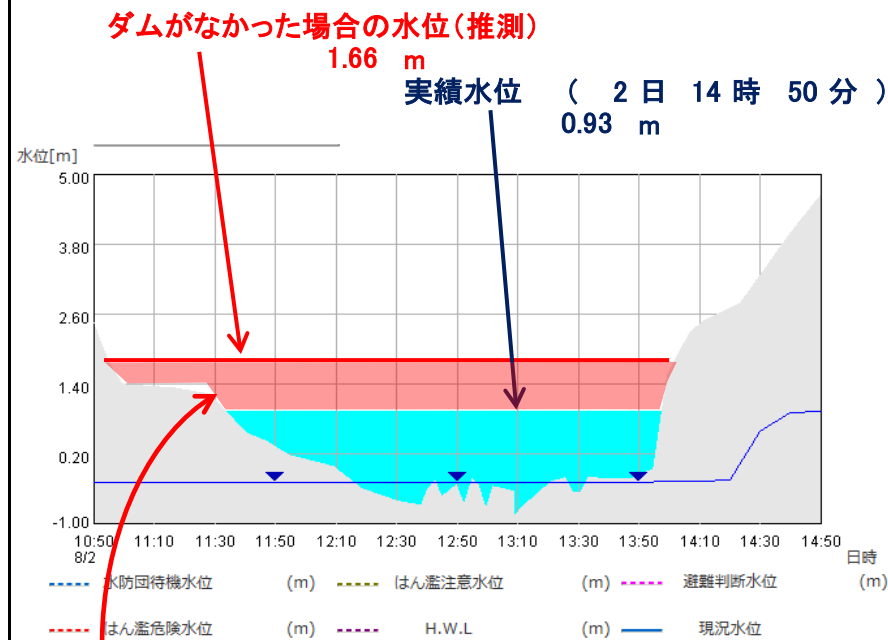
○大倉ダムの洪水調節等により、**白沢地点で約0.73m**、広瀬橋地点で、水位を**約0.20m低減させる効果**があったものと推測され、ダムの効果により、河川が氾濫する危険が軽減されました。

下流河川の状況写真



白沢水位観測所(洪水後 8月2日 16時00分)

広瀬川(白沢地点)の水位低減効果



青色の実線は、水位の時間変化を表しています。
水色の水面は、現在表示している観測時刻の水位を表しています。

**ダムにより約0.73mの
水位低減効果を推測**